

2008年9月18日

報道機関各位

株式会社阪急阪神ホテルズ

『コーポレートマーク』および『グループマーク』の制定について

株式会社阪急阪神ホテルズ（本社：大阪府大阪市 代表取締役社長 山澤 俱和）が展開いたします阪急阪神第一ホテルグループ（直営ホテル：16 グループホテル：29）は、2008年10月に発足2周年を迎えます。1926（大正15）年にオープンした「宝塚ホテル」から始まり、数度の合併による変遷を経て、各ホテルの経営戦略機能・管理機能をつなぐことでホテルグループを再編して参りました。その間にも「上質の眠り」にこだわった全く新しい宿泊主体型の『レム』を新ブランドとして立ち上げるなど、80余年の歴史と伝統と共に培ったノウハウをもとに、スケールメリットと高い事業効率を生かし、さらに存在感のあるチェーンホテルオペレーターを目指しております。今後も積極的にホテルネットワークを拡大すべく、このたび新たにコーポレートマークならびにグループマークの制定を行いました。

阪急阪神ホールディングスの中核企業のひとつとして、グループ経営理念、阪急阪神ホテルズ企業理念と基本方針を実現していく思いをコーポレートマークならびにグループマークに込めています。マークはいずれも同形で、Hをモチーフに「お客様をおもてなしする姿」と「花」を表現しております。やわらかで躍動感あふれるフォルムに思いを込め、コーポレートマークカラーとしては「菫紫（すみれむらさき）」を、グループマークカラーとしては「カメリアレッド」を使用しております。



阪急阪神ホテルズ

〈コーポレートマーク〉

カラー：DIC148



阪急阪神第一ホテルグループ

〈グループマーク〉

カラー：TOY00072

■シンボルマークデザインコンセプト

1. 「H」をモチーフ

「株式会社阪急阪神ホテルズ」「阪急阪神第一ホテルグループ」の頭文字を表す「H」と弊社の基本方針である4つの「H」(Hospitality「顧客感動」、Humanity「従業員満足」、Honesty「企業倫理」、Harmony「社会貢献」)の頭文字をモチーフにしています。

2. ナンバーワン／オンリーワン

上部の円は、輝く太陽の象徴であり、【ナンバーワン／オンリーワン】＝「第一」の意をこめています。

これらの2つ「H」と「円」の組み合わせにより、夢と感動の「花」を、そして躍動感のある「お客様をおもてなしする姿」を表現し、【夢・感動】を実現しようとする姿勢を伝えます。また全体の柔らかなフォルムは見る人から親しみやすく、【安心・快適】なイメージを伝えます。そして、自由な曲線で構成された形は、【革新的・先進性】を表しています。

■カラーコンセプト

コーポレートマーク：堇紫（すみれむらさき）

常に品性のあるおもてなしを心がけ、堇紫をコーポレートマークの色として用いました。紫は日本では古来より高い位を象徴する色として尊ばれ、気品・風格にあふれ、艶やかさ（様々な美しさ）と共に見る人の心に落ち着きをもたらします。

グループマーク：カメラアレッド

グループの華やかな発展、華のあるおもてなしを願い、花の色を映した赤（カメラアレッド）をグループマークの色として用いました。カメラは「椿」の意。カメラアレッドは、椿の花にも似た鮮やかな紅色で、気品とエネルギーに満ち溢れたインパクトを与える色で、未来への情熱や夢、人のあたたかさ・親しみやすさ、そして優雅さを備えています。

以 上

このリリースに関するお問い合わせ先

〒530-0012 大阪市北区芝田 1-8-1

株式会社阪急阪神ホテルズ

マーケティング部 営業企画・営業広報課

担当／八尾、田村

TEL：06-6377-5743 FAX：06-6486-3322